

令和5年度 下水道維持管理業務取組み発表会
発表概要

所属 遠賀川下流浄化センター
発表タイトル 設備フローシートの電子化及び活用方法について
取組の目的 建設当初の新設工事については、紙ベースのデータしかなく、更新工事については電子化されているものの断片的な情報になっている。そのため、フローシートを電子化し一元化することで通常時や災害時の運転管理に関する業務効率化を図ることを目的とする。
取組内容 <ul style="list-style-type: none">・分散し古いままの情報を集約・精査し、最新の情報を電子化する。・電子化した情報を委託業者と共有し、迅速化かつ的確な運転管理を行う。・機器と配管で色分けや情報の選択を行う。・通常時の維持管理についても活用方法を模索する。・緊急時については分析や判断が素早くできるようにするために、1枚にまとめる。
取組成果・効果 <ul style="list-style-type: none">・設備及び配管のトラブルや通常の業務について、迅速に確認することができたため業務効率が向上した。・紙だけではなく電子での保管も行うことによってバックアップや情報資産として残すことができた。・今後の課題としては、常にフローシートを最新にする必要がある。また、現場との親和性を高めることも運用していく上で重要である。